

投影法の自動調整

ご存知でしたか?... 表示処理では、グループ中の全レイヤをユーザが新たに選択した地図投影法に自動で投影します。

投影法の自動調整によって...

- 地図の歪みを最小限に抑えています。
- さまざまな投影法を持つレイヤを1つの参照用地図に適合させることができます。
- 表示中の全レイヤをなじみの投影法に変えて表示できます。
- 地図やアトラスを印刷する前に任意の投影法で簡単にプレビューできます。



ラスタサイズ 9200 × 8250 の北アメリカの AVHRR ラスタ画像とアメリカ合衆国の州のベクタレイヤを3種類の地図投影法を使って表しています。

自動投影法の使い方

- ジオリファレンス済みのレイヤをいくつでも表示グループに追加して下さい。
- 表示グループのアイコンをクリックして、〈グループ設定 (Group Settings)〉ダイアログを開きます。
- [投影法 (Projection)] タブの中の [自動マッチング (Auto-Match)] を [なし (None)] にします。
- [投影法] ボタンをクリックします。
- [座標系 (Coordinate System)] タブで、座標系を設定します。
- 〈グループ設定〉ダイアログで [再描画 (Redraw)] ボタンをクリックして、再投影します。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：
地図投影の概要
 (Introduction to Map Projections)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
 紀伊国屋ビル 1F
 Tel: (03)3623-2851
 Fax: (03)3623-3025
 E-mail: info@opengis.co.jp

